

～野火後のヨシ群落でさえずるオオヨシキリ～

オオヨシキリはヨシ群落で繁殖する夏鳥です。”ゲゲツ”という方言にふさわしく、この時期、オスは賑やかにさえずり、メスを自分のなわばりに呼び込みます。数本のヨシを組み合わせ、野火後のヨシは生長がよく、しっかりとした巣を作ることができます。そのため、オオヨシキリの密度は野火後のヨシ群落で高い傾向があります。

Vol.180

令和7年度6月号

バス・バスターズが始まりました

ラムサール条約登録40周年を迎えた今年のバス・バスターズ。5月18日に行った第1回目には27名のボランティアが参加し、初夏を感じさせる陽気のもとオオクチバスの駆除活動を行いました。

今年は6月15日までの毎週日曜日に、合計5回の駆除活動を実施することになっています。

バス・バスターズの活動紹介や参加方法へはこちらのQRコードから



活動後、沼の中での記念写真に収まるボランティアの皆さん



第1回目はセンターで開会式を開催



三角網でバスの稚魚をすくい捕獲します



150基の人工産卵床を一つひとつ確認



産み付けられた産卵床。卵は推計7,300粒



定置網で捕獲した魚たちを観察

6月のバス・バスターズ 実施予定

第3回 6月 1日(日) 9:00～12:00

第4回 6月 8日(日) 9:00～12:00

第5回 6月15日(日) 9:00～12:00

実施内容

人工産卵床の見まわり、バス稚魚すくい
皆様のご参加をお待ちしています



手入れしたカキツバタ群落を前に笑顔の皆さん

カキツバタの見頃は
5月下旬から6月上旬

宮城いきいき学園登米・栗原校の皆さんによるカキツバタの保全活動が、5月21日に水生植物園で行われました。当日は天候に恵まれ、カキツバタ群落を育成している水路周辺の除草作業を草刈機や手作業で丁寧に行い、予定よりも広い範囲を綺麗に手入れしていただきました。

カキツバタの開花期は5月下旬から6月上旬までですが、周囲の草を取り除いたことでカキツバタの姿が見違えるほど映えるようになり、より鑑賞しやすい環境で花の見頃を迎えることができます。



カキツバタの生える水路周辺を丁寧に草刈り

“自然体験講座” 申込受付中 (ラムサール条約登録40周年記念プログラムあり)

第1回 伊豆沼水辺探検隊 (特別プログラム)

開催日: 6月21日(土) 申込締切 6月14日(土)

胴長を着用して、沼を歩きながら水生植物の観察や、仕掛けておいた定置網で魚を捕獲し観察を行います。

第2回 水辺の生き物採集と観察会

開催日: 7月5日(土) 申込締切 6月28日(土)

水生植物園の池で、玉網を使い小魚や水生昆虫を採集し、その観察を行います。

第3回 昆虫採集と標本作り

開催日: 7月26日(土) 申込締切 7月19日(土)

午前中は水生植物園で蝶などの昆虫採集を行い、昼食をはさんで採集した昆虫の標本作りを行います。

第4回 伊豆沼漁師体験 & 植物観察会

(特別プログラム)

開催日: 8月9日(土) 申込締切 8月2日(土)

胴長を着用し、沼歩きをしながら漁師さんが行っていた定置網での魚の捕獲、捕獲した魚の観察を行います。

第5回 伊豆沼研究室 (特別プログラム)

開催日: 9月20日(土) 申込締切 9月13日(土)

中学以上を対象として、伊豆沼周辺の水生植物を調査したり、定置網で捕獲した魚類の分類などを行います。

第6回 伊豆沼漁師体験

開催日: 10月5日(日) 申込締切 9月28日(日)

胴長を着用し、沼歩きをしながら漁師さんが行っていた定置網や刺し網での魚の捕獲、捕獲した魚の観察を行います。



胴長を着用しての
沼歩き体験

玉網を使って小魚
や昆虫を採取



捕獲した小魚や
水中昆虫の観察

【各回共通事項】

当日日程 9時受付開始 昼食後終了
(第3回のみ午後日程あり)

参加対象 小学生とその保護者
(第5回のみ中学生以上)

参加費 1人1,500円(昼食・資料・保険代)

集合場所 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

募集人数 各20名申込先着順

申込方法や詳しい内容は右上のQRコード、
またはホームページでご確認ください。



注) 第1回、第3回、第6回は定員に達しました。